

附 平成19年埼玉県鉱工業指数の概要

1 概況 ー生産指数、出荷指数ともに上昇ー

平成19年の埼玉県鉱工業指数（平成17年平均=100）は、前年に比べ、生産1.1%、出荷1.3%と上昇し、一方で在庫は▲3.3%、在庫率は▲3.9%と低下した。

四半期別に一年間の動きをみると、生産は1～3月期を除き対前期比で上昇し、出荷は4～6月期、7～9月期が上昇、1～3月期、10～12月期が低下、在庫は4～6月期、10～12月期が上昇、1～3月期、7～9月期が低下した。

業種別（生産・出荷22業種、在庫21業種）にみると、生産は、化学工業・印刷業など13業種で上昇、プラスチック製品工業・その他製品工業など9業種が低下した。出荷は、化学工業・印刷業など13業種で上昇、一般機械工業・その他製品工業など9業種が低下した。在庫は、その他製品工業・情報通信機械工業など11業種で上昇、輸送機械工業・電気機械工業など10業種が低下した。

表1-1 鉱工業総合指数の推移（17年=100 季調済、年の数字は原指数による）

種 別		18年	19年	19年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生 産	指 数	105.6	106.8	103.7	106.6	108.7	109.0
	増加率(%)	5.6	1.1	▲2.8	2.8	2.0	0.3
出 荷	指 数	104.9	106.3	102.6	106.3	109.0	107.9
	増加率(%)	4.9	1.3	▲3.6	3.6	2.5	▲1.0
在 庫	指 数	106.7	103.2	98.7	104.7	91.9	97.7
	増加率(%)	▲7.2	▲3.3	▲2.5	6.1	▲12.2	6.3
在 庫 率	指 数	103.4	99.4	101.0	101.7	95.0	99.8
	増加率(%)	3.4	▲3.9	0.7	0.7	▲6.6	5.1

図1-1 鉱工業総合指数の推移（17年=100 季調済、年の数字は原指数による）

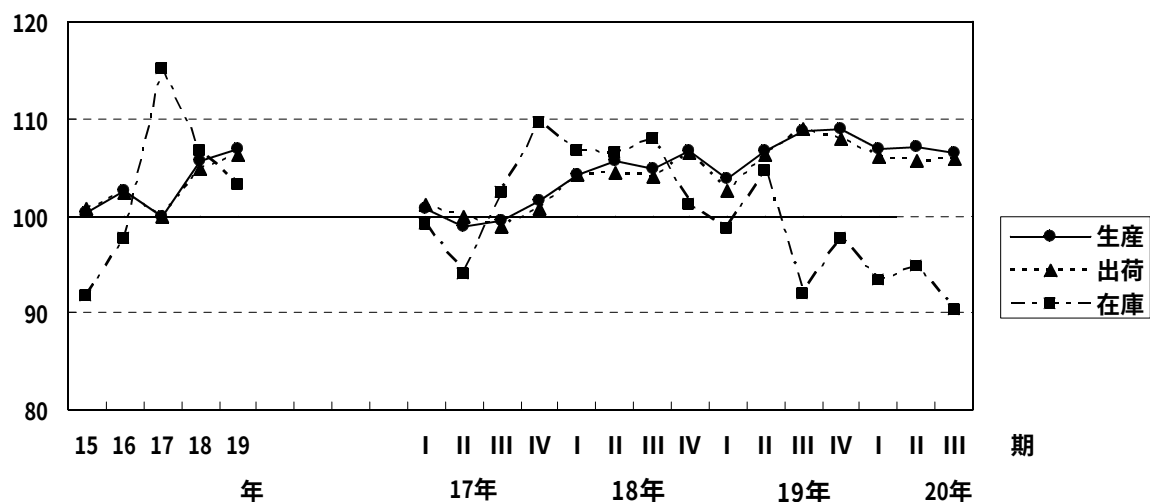


表 1－2 上昇・低下に寄与した業種及び品目

＊生 産

上昇した主な業種	化学工業 5.0% (0.9%) 印刷業 5.7% (0.5%)	医薬品 平版印刷
低下した主な業種	プラスチック製品工業▲5.6% (▲0.2%) その他製品工業 ▲10.1% (▲0.2%)	プラスチック製継手 電子キーボード類
上昇した主な品目	医薬品(化)、半導体製造装置(一)、平版印刷(印)	
低下した主な品目	フラットパネルディスプレイ製造装置(一)、携帯電話(情)	

＊出 荷

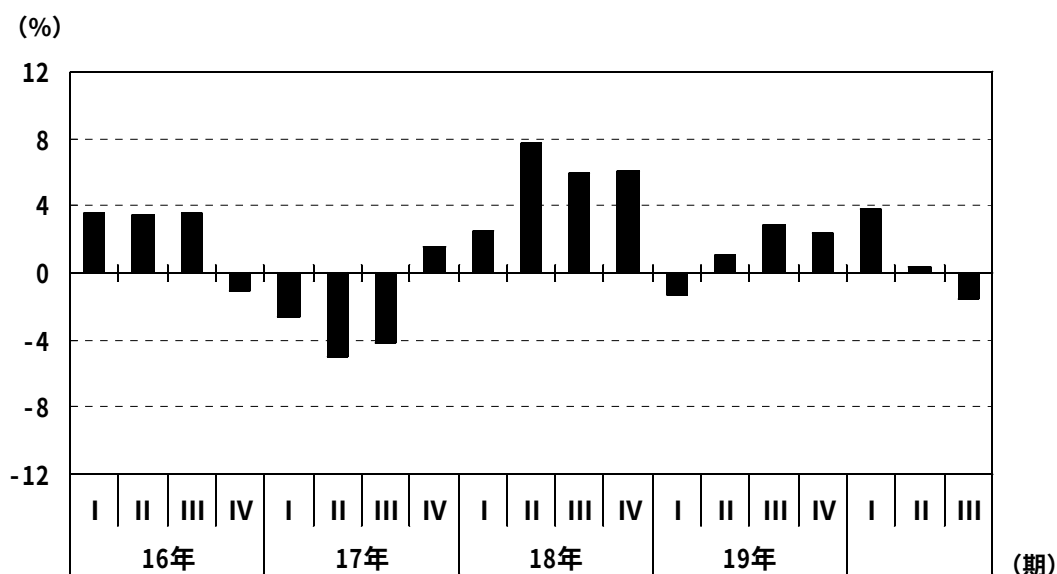
上昇した主な業種	化学工業 4.9% (0.7%) 印刷業 5.7% (0.5%)	医薬品 平版印刷
低下した主な業種	一般機械工業 ▲2.4% (▲0.2%) その他製品工業 ▲9.4% (▲0.1%)	はん用内燃機関 電子キーボード類
上昇した主な品目	医薬品(化)、液晶テレビ(情)、半導体製造装置(一)	
低下した主な品目	携帯電話(情)、はん用内燃機関・フラットパネルディスプレイ製造装置(一)	

＊在 庫

上昇した主な業種	その他製品工業 26.1% (0.5%) 情報通信機械工業 32.5% (0.4%)	シャープペンシル 電話機
低下した主な業種	輸送機械工業 ▲8.5% (▲2.0%) 電気機械工業 ▲8.7% (▲1.5%)	乗用車 鉛蓄電池
上昇した主な品目	電話機(電)、シャープペンシル(他)、プラスチック製建材(プ)	
低下した主な品目	乗用車(輸)、鉛蓄電池(電)、普通トラック(輸)	

注) 数字は対前年比。()内は寄与度。

図 1－2 生産指数前年同期比の推移



20年

図1-3 鋳工業生産業種別伸び率寄与度の推移

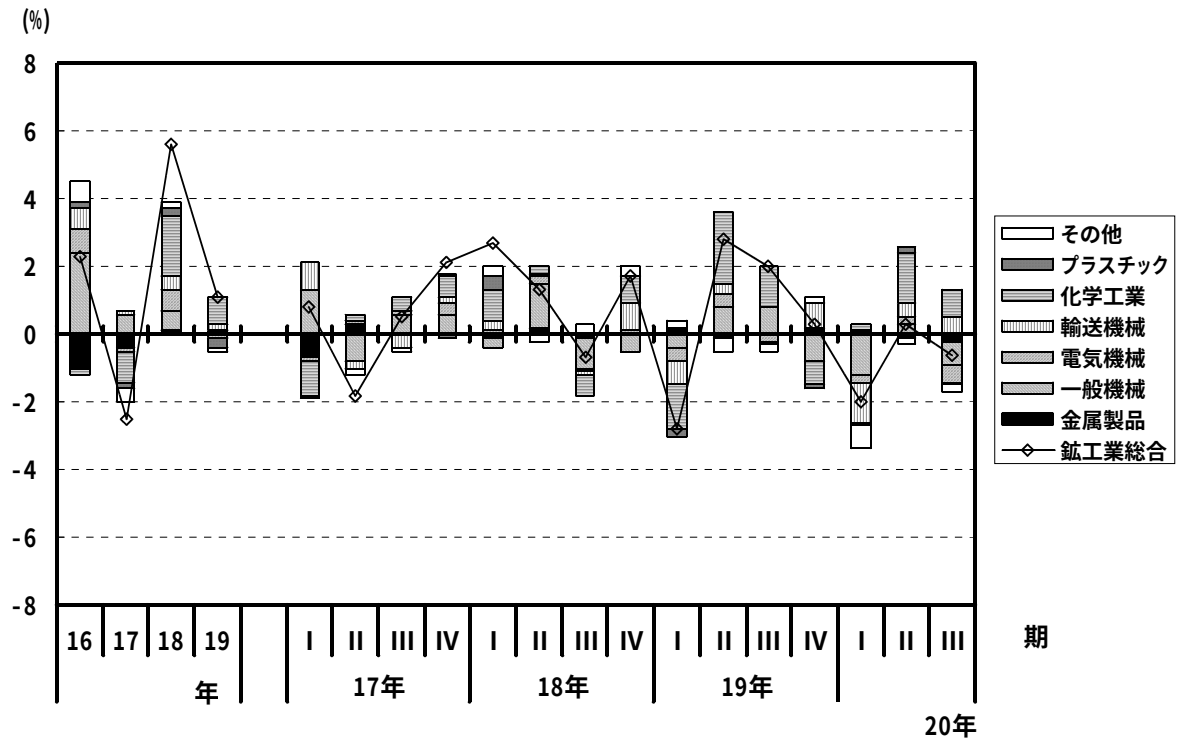
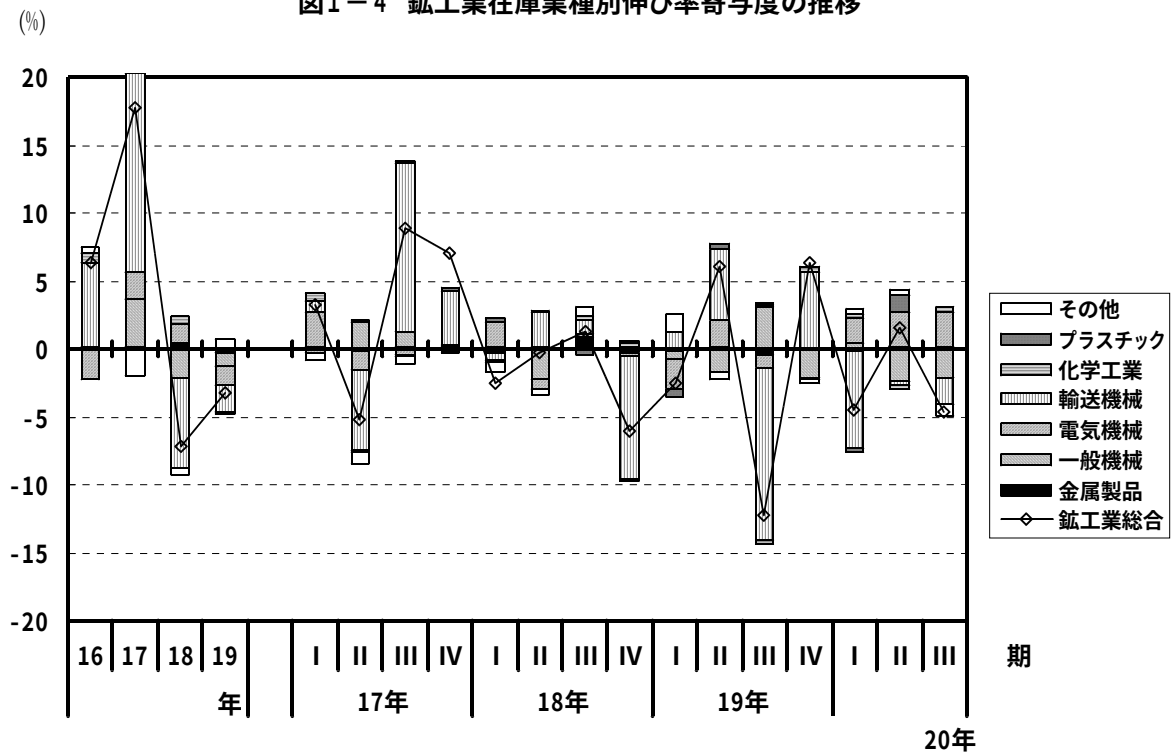


図1-4 鋳工業在庫業種別伸び率寄与度の推移



2 財別動向

(1) 生産 —最終需要財・生産財ともに上昇—

平成19年の生産動向を財別にみると、前年に比べ、最終需要財は1.8%（投資財0.5%、消費財2.6%）、生産財も0.5%と上昇した。

品目別に上昇品目をみると、最終需要財では半導体製造装置（投資財）や液晶テレビ・医薬品（消費財）、生産財では平版印刷などが寄与した。

一方で低下品目については、最終需要財ではフラットパネルディスプレイ製造装置（投資財）や携帯電話（消費財）、生産財では空気圧機器などが寄与した。

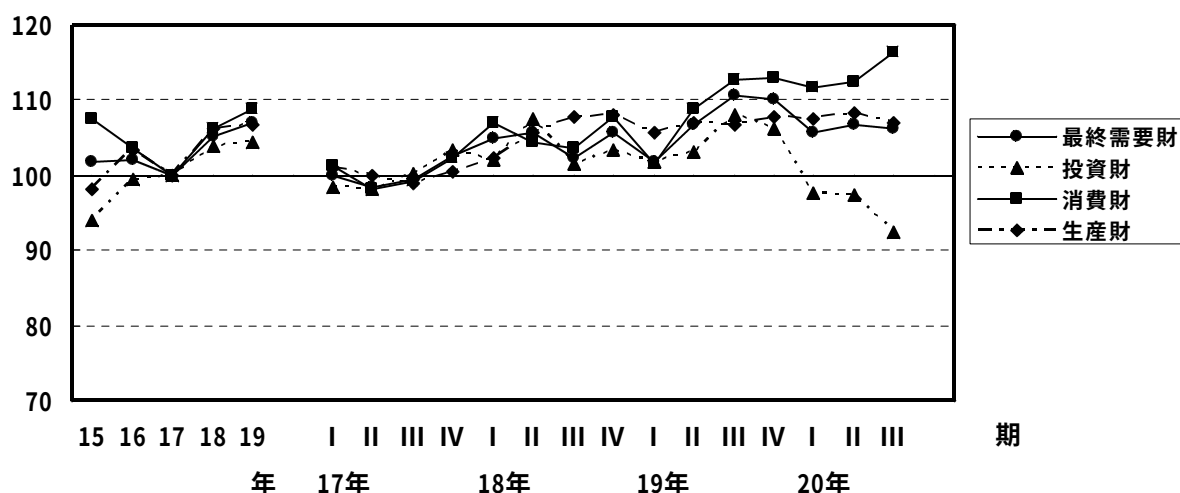
表2-1 財別生産の推移

（17年=100 季調済、年の数値は原指数による）

種別		18年	19年	19年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
最終需要財	指数	105.1	107.0	101.8	106.7	110.5	110.1
	増加率(%)	5.1	1.8	▲3.7	4.8	3.6	▲0.4
投資財	指数	103.8	104.3	101.7	103.2	108.0	106.1
	増加率(%)	3.8	0.5	▲1.6	1.5	4.7	▲1.8
資本財	指数	103.8	104.2	101.7	101.6	109.1	107.0
	増加率(%)	3.8	0.4	▲0.7	▲0.1	7.4	▲1.9
建設財	指数	103.6	104.7	103.3	106.4	105.1	104.4
	増加率(%)	3.6	1.1	▲1.5	3.0	▲1.2	▲0.7
消費財	指数	106.1	108.9	101.5	108.8	112.7	113.0
	増加率(%)	6.1	2.6	▲5.8	7.2	3.6	0.3
耐久消費財	指数	100.3	99.0	94.3	101.4	99.7	101.1
	増加率(%)	0.3	▲1.3	▲6.4	7.5	▲1.7	1.4
非耐久消費財	指数	109.6	114.8	104.6	151.1	120.8	119.2
	増加率(%)	9.6	4.7	▲5.9	10.0	5.0	▲1.3
生産財	指数	106.1	106.6	105.7	107.0	106.6	107.7
	増加率(%)	6.1	0.5	▲2.2	1.2	▲0.4	1.0
鉱工業用生産財	指数	103.6	102.8	101.7	103.1	102.6	104.0
	増加率(%)	3.6	▲0.8	▲2.8	1.4	▲0.5	1.4
その他用生産財	指数	117.8	124.8	123.9	124.8	126.2	125.1
	増加率(%)	17.8	5.9	▲0.8	0.7	1.1	▲0.9

図2-1 財別生産の推移

（17年=100 季調済、年の数値は原指数による）



(2) 出 荷 —最終需要財・生産財ともに上昇—

平成19年の出荷動向を財別にみると、前年に比べ、最終需要財は1.5%（投資財1.1%、消費財1.9%）、生産財も0.9%と上昇した。

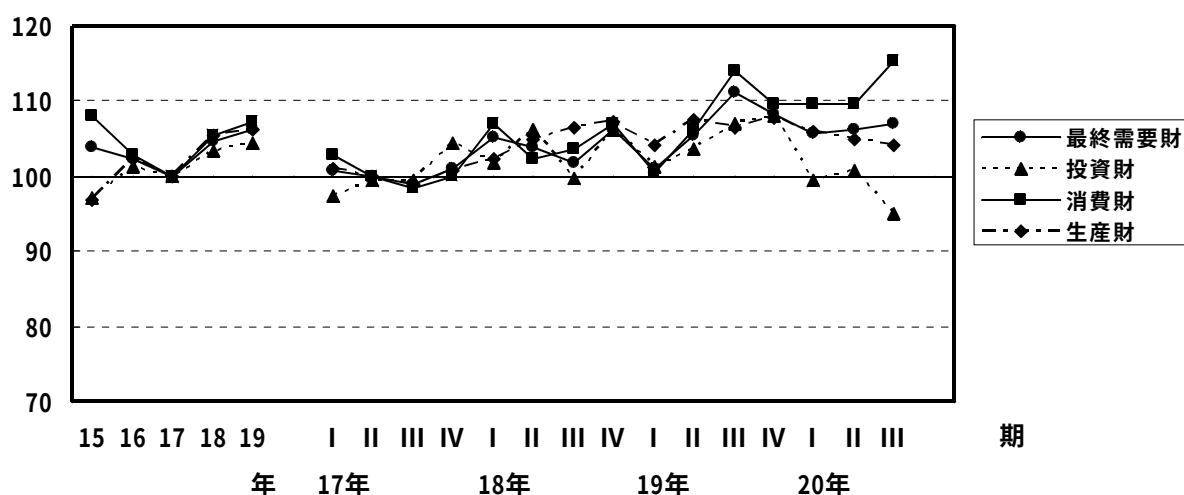
品目別に上昇品目をみると、最終需要財では液晶テレビ(消費財)・半導体製造装置(投資財)・乗用車(消費財・投資財)、生産財では平版印刷などが寄与した。

一方で低下品目については、最終需要財では携帯電話(消費財)やフラットパネルディスプレイ製造装置(投資財)、生産財でははん用内燃機関などが寄与した。

表2-2 財別出荷の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		18年	19年	19年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
最終需要財	指数	104.6	106.2	101.0	105.4	111.2	108.4
	増加率(%)	4.6	1.5	▲4.8	4.4	5.5	▲2.5
投資財	指数	103.3	104.4	101.2	103.7	107.0	107.9
	増加率(%)	3.3	1.1	▲4.6	2.5	3.2	0.8
資本財	指数	102.7	103.9	100.4	102.1	107.6	109.1
	増加率(%)	2.7	1.2	▲4.8	1.7	5.4	1.4
建設財	指数	104.9	105.7	104.3	107.9	106.8	104.4
	増加率(%)	4.9	0.8	▲2.2	3.5	▲1.0	▲2.2
消費財	指数	105.3	107.3	100.5	106.3	114.0	109.7
	増加率(%)	5.3	1.9	▲6.1	5.8	7.2	▲3.8
耐久消費財	指数	101.9	101.3	95.8	101.6	107.4	102.3
	増加率(%)	1.9	▲0.6	▲7.9	6.1	5.7	▲4.7
非耐久消費財	指数	109.0	113.9	104.9	114.3	118.7	118.2
	増加率(%)	9.0	4.5	▲5.2	9.0	3.8	▲0.4
生産財	指数	105.3	106.3	104.2	107.4	106.4	107.7
	増加率(%)	5.3	0.9	▲2.8	3.1	▲0.9	1.2
鉱工業用生産財	指数	103.2	103.2	100.8	104.4	103.0	104.9
	増加率(%)	3.2	0.0	▲3.4	3.6	▲1.3	1.8
その他用生産財	指数	117.8	124.6	123.6	124.2	126.5	124.9
	増加率(%)	17.8	5.8	▲1.1	0.5	1.9	▲1.3

図2-2 財別出荷の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(3) 在 庫 —最終需要財・生産財ともに低下—

平成19年の在庫動向を財別にみると、前年に比べ、最終需要財は▲5.2%（投資財▲5.3%、消費財▲5.1%）、生産財も▲1.5%と低下した。

品目別に上昇品目をみると、最終需要財では電話機(消費財)やプラスチック製建材・小型棒鋼(投資財)、生産財ではH I Dランプなどが寄与した。

一方で低下品目については、最終需要財では乗用車(消費財・投資財)・普通トラック(投資財)や電子レンジ(消費財)、生産財では鉛蓄電池などが寄与した。

表2-3 財別在庫の推移

(17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		18年	19年	19年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
最終需要財	指数	109.9	104.2	98.5	111.2	79.1	95.1
	増加率(%)	▲13.9	▲5.2	▲2.1	12.9	▲28.9	20.2
投資財	指数	103.0	97.5	102.2	103.7	92.9	94.2
	増加率(%)	▲0.2	▲5.3	2.6	1.5	▲10.4	1.4
資本財	指数	129.0	104.2	116.8	111.8	84.0	92.5
	増加率(%)	8.3	▲19.2	1.8	▲4.3	▲24.9	10.1
建設財	指数	88.9	93.8	94.1	99.4	97.7	95.3
	増加率(%)	▲5.9	5.5	4.3	5.6	▲1.7	▲2.5
消費財	指数	114.2	108.4	96.7	116.4	71.4	95.2
	増加率(%)	▲20.3	▲5.1	▲4.1	20.4	▲38.7	33.3
耐久消費財	指数	118.0	109.1	97.2	119.1	64.6	93.1
	増加率(%)	▲22.2	▲7.5	▲4.1	▲22.5	▲45.8	44.1
非耐久消費財	指数	94.6	104.7	95.9	98.5	102.0	103.9
	増加率(%)	▲4.3	10.7	2.3	2.7	3.6	1.9
生産財	指数	104.0	102.4	97.9	99.7	102.9	100.1
	増加率(%)	▲0.1	▲1.5	▲3.6	1.8	3.2	▲2.7
鉱工業用生産財	指数	104.4	102.0	98.1	99.7	102.8	99.8
	増加率(%)	0.2	▲2.3	▲3.8	1.6	3.1	▲2.9
その他用生産財	指数	78.8	133.5	89.1	102.3	113.4	128.1
	増加率(%)	▲19.0	69.4	17.5	14.8	10.9	13.0

図2-3 財別在庫の推移

(17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

